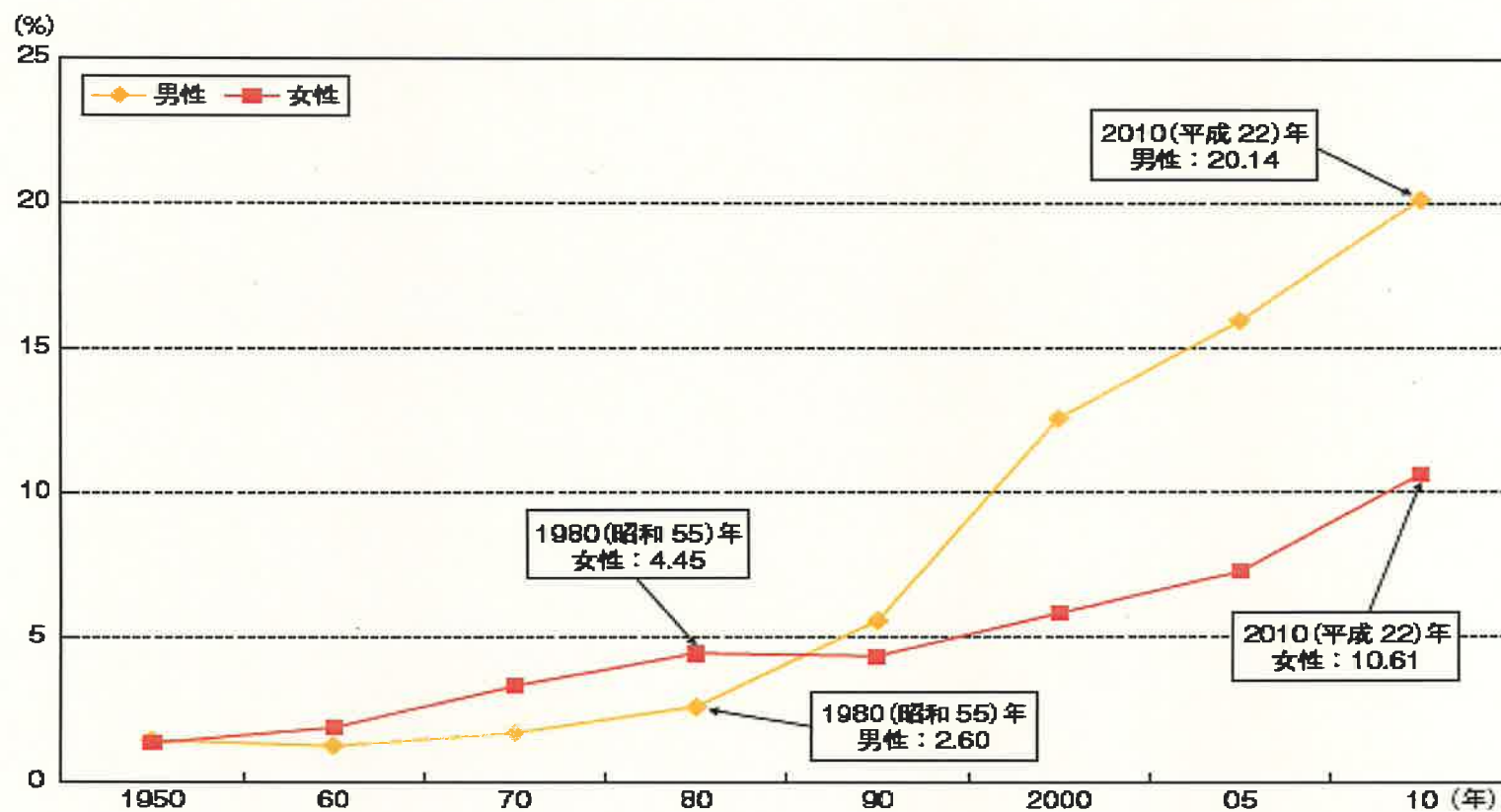


結婚をめぐる状況について

50歳時の未婚割合（生涯未婚率）の推移

- 50歳時の未婚割合（生涯未婚率）は、1980年に男性2.60%、女性4.45%であったが、直近の2010年には男性20.14%、女性10.61%に上昇している。この傾向が続けば、いずれ、男性で3割近く、女性で2割近くになると推計されている。

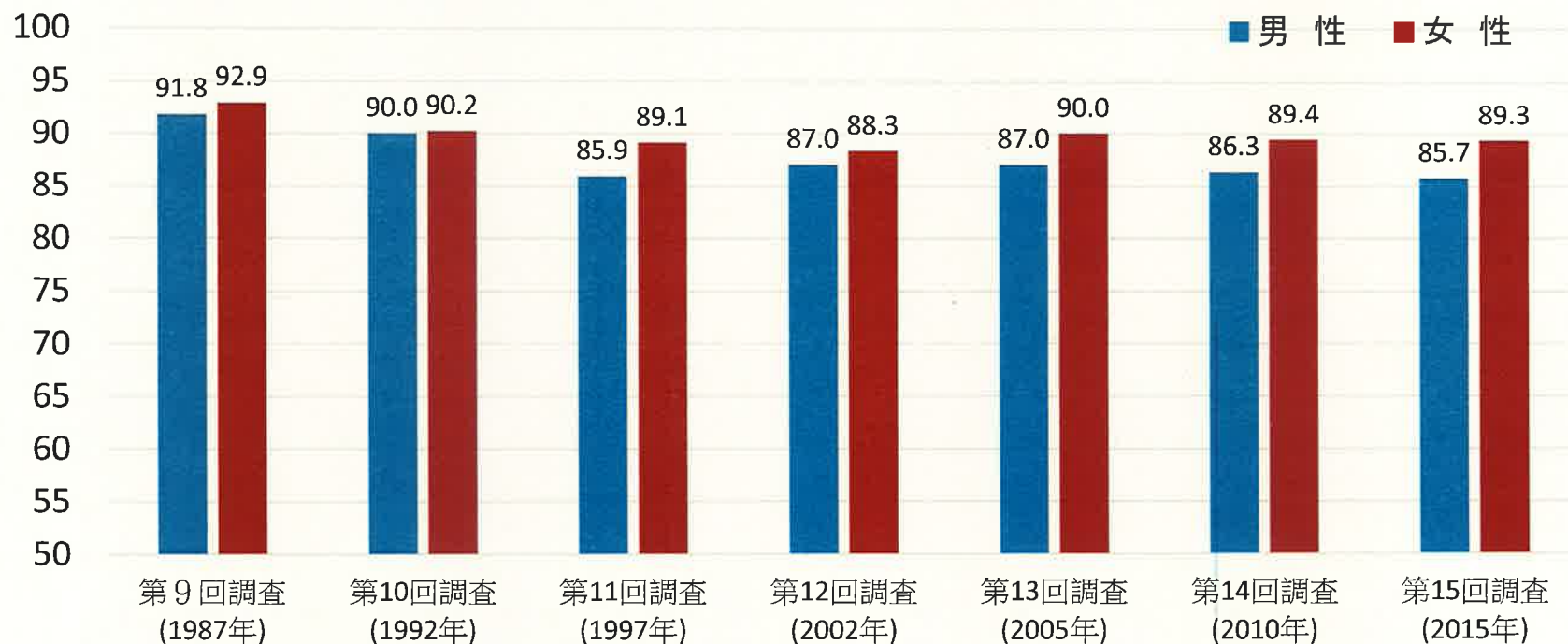


資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2016」

注：45～49歳と50～54歳未婚率の平均値。50歳時の未婚割合は生涯未婚率とも呼ばれる。

未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合

○未婚者(18歳～34歳)の結婚意思は、男女とも9割程度で推移



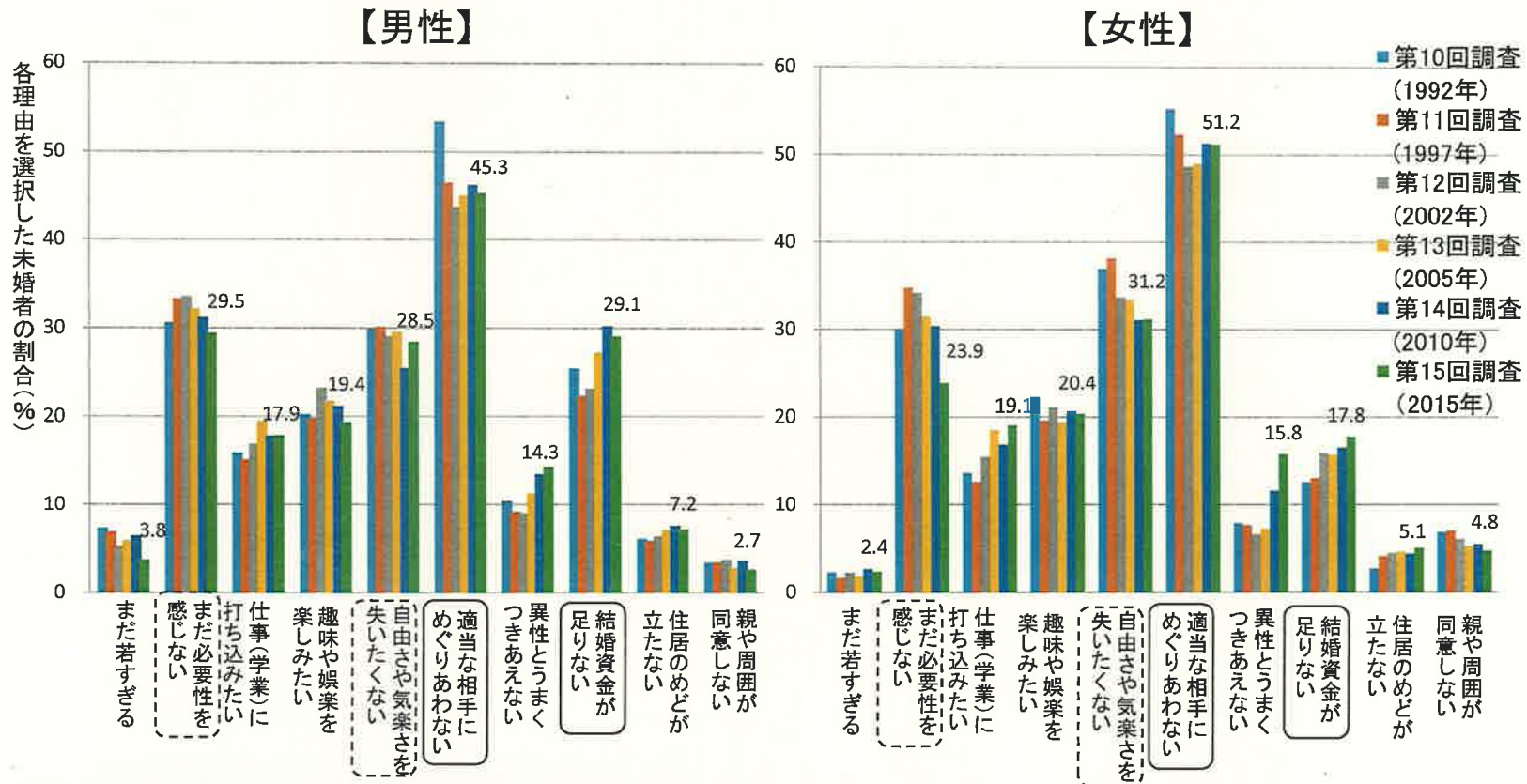
資料出所: 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

※18～34歳対象、設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか」

(1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない)について、1を回答した割合

若者が結婚しない理由

- 25～34歳の未婚者に独身でいる理由を尋ねると、男女とも、「適切な相手にめぐりあわない」が最も多い。
- 次に、男性については、「まだ必要性を感じない」「結婚資金が足りない」が多く、女性については、「自由さや楽しさを失いたくない」「まだ必要性を感じない」が多い。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(独身者調査)

注：対象は、25～34歳の未婚者。未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(3つまで選択可)としてあげているかを示す。グラフ上の数値は第15回調査の結果。